

阿里巴巴集団 (アリババグループ) ADR(BABA)

【セクター】 インターネット

【市場】 NYSE

【企業概要】

中国のeコマース最大手。CtoCの「タオバオ」やBtoCの「Tモール」を運営。主なセグメント別売上高構成比（22.3期）は、中国コマースが69%、クラウドが9%、グローバルコマースが7%、菜鳥（物流部門）が5%、ローカルコンシューマーサービスが5%です。クラウドは中国でシェア1位です。2016年に東南アジア最大のECサイト「Lazada」を買収しました。中国フィンテック大手のアント・グループを傘下に持ち、多数のユニコーン企業に出資しています。（注：22.3期よりセグメントを再編）

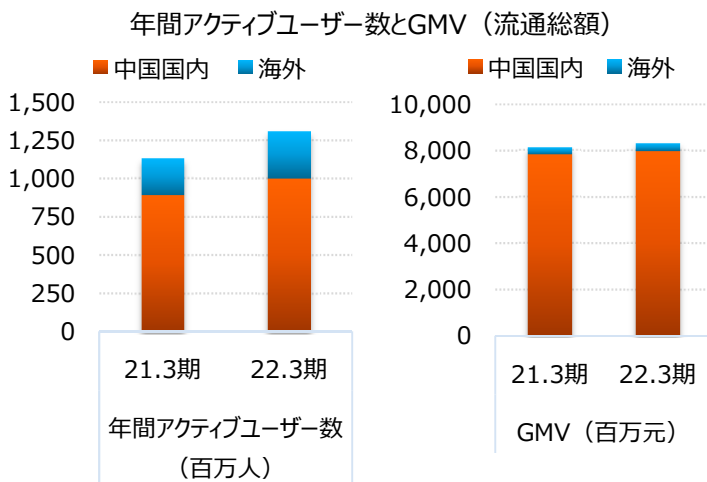
【業績】（単位：売上高、純利益は百万人民元、EPS、1株配当、BPSは人民元、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
21.3期	717,289	171,985	65.15	0.00	345.8	17.8	64.1
22.3期	853,062	143,515	52.69	0.00	349.9	6.6	63.8
23.3期（予）	916,367	132,910	51.20	0.00	297.5	10.1	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

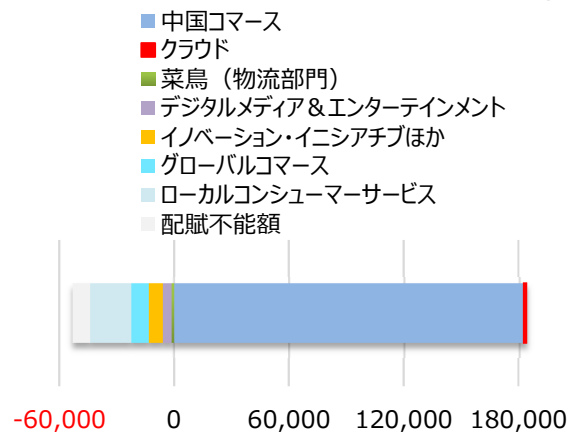
（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

【主要指標】



（出所）会社資料よりSBI証券作成

セグメント別調整後EBITDA (22.3期、百万元)



（出所）会社資料よりSBI証券作成

【会社の見方】

eコマースを主力に多角化を図っており、中国国内ではクラウドとローカルコンシューマーサービスなどに力を入れています。2021年からはグローバルコマースも重点戦略の一つに挙げています。グローバルコマースやローカルコンシューマーサービスなどは投資がかさみ、依然赤字ですが、クラウドは22.3期に初めて調整後EBITDA（利払い・税金・償却前利益）ベースで黒字転換を果たしました。今後、成長分野のクラウドで黒字幅の拡大が確認できれば、業績にとって大きなプラス要因となります。事業リスクは競争激化に加え、再編中のアント・グループをめぐる不確実性やネット大手に対する規制強化です。なお、中国当局は2022年に入ってから規制強化の「早期終了」を示唆しました。現実となれば、規制リスクの大幅軽減につながりそうです。

【見通し・注目点】

4-6月期は売上高と調整後EPSがともに市場予想を小幅に上回りました。中国コマースは前年同期比1%の減収に転じましたが、ローカルコンシューマーサービスとクラウドはそれぞれ同5%増収、同10%増収となりました。中国コマースについて経営陣は、上海のロックダウン解除後、月次ベースで回復が続いており、7月は特に衣類や家電が回復したと説明しました。クラウドは短期的にマクロ環境や企業のIT支出による影響を受けるだろうが、中長期的には引き続き、成長産業だと強調しました。

本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。